

(4) 和服に廣幅物を用ふること。

廣幅物利用の効果

(一) 生産費の節減となる。

(1) 生産能率の増進 廣幅物はすべて機械で織るので染色・製織・仕上げ等の上にも多大の浪費を省き、時間の上から考へても同時間に並幅の二倍の織物が出来るとなる。

(2) 価格は低廉となる。生産能率の増進により自然に価格はやすくなる。

(二) 海外伸展 従来は並幅は内地向、廣幅は外國向となつて居た。今之を廣幅物に統一すれば海外に販路を擴張することが出来る。

(三) 消費者の立場から見ても利益である。

(1) 廣幅物を用ひて最も經濟的な裁ち方によると、一反の約四分の一の布の節約となる。之を全國人にあてはめて計算すると其の價は多額にのぼる。

(2) 裁ち方が簡單で縫ひ合せ少なく、仕立時間と絲とに約三分の一は利益する。

(3) 衛生上から見ても種々の長所がある。

(イ) 洗濯に便利なこと。

(ロ) 重量が軽く、活動に便であること。

(ハ) 嬰兒服・肌着の如く縫目少なきを穿ぶものに適すること。

(ニ) 模様を完全にあらはすことが出来、外見上よろしい。

(ホ) 和服地を用ひ洋服をつくるに便である。

衣服の數の節減

我が國は春夏秋冬氣候の變化甚だしく、且つ古來の風俗習慣上から、色々の種類の衣服が用ひられて居る。今や從來の和服に洋服が加はり、服装は多種多様となり、其の歸着する所を知らない有様である。衣服に費す費用も頗る多い。殊に婦人の服装問題は研究すべき餘地が澤山ある。

(一) 衣服節減の方針

衣服の數の節減をはかるといつても無暗に數を減少することなく、一定の方針の下に行はなくてはならぬ。

- (1) 衛生の目的に適合する程度までは要求すべきである。
- (イ) 十分に身體を温保すること。
- (ロ) 清潔を保つ上に遺憾なきこと。
- (2) 經濟上の目的に適合すること。
- (イ) 豫算を定め其の範圍内に於て決定すること。
- (ロ) 材料の耐久性を完うし得る程度の數とすること。
- (3) 容儀を失せず趣味の満足を得る程度たること。
- (イ) 社交上の禮儀を失せざること。少數の衣服を活かして用ふ。
- (ロ) 各個人の有する美的趣味の要求を充すこと。

(二) 衣服の必要數標準

(1) 禮服

儀式服は嚴肅なる意を外部に發表せられるるのであるから、地質は粗末でも吉凶一揃を用意することは、中流以上の家庭

に於て禮容を完うするに必要である。

(1) 男子の禮服 二重生活を廢し、職業地位より、和洋何れか其の一を選択し、夏冬一揃を備へ、吉凶一つでよい。

(2) 女子の禮服 主要な精神を没却して裝飾的意匠に流れ易いから次の如くに改良し、禮服の意味を缺かない範圍内に於て數を少なくし、經濟的ならしめること。

(イ) 振袖を廢すること。

(ロ) 地質は粗末なりとも、冬は吉凶各一着、夏は地味な薄色とし、吉凶兼用とする。

(2) 訪問服

男子は簡便なれども女子は服裝に煩ふの結果、或は社會的關係を無視し、訪問を怠り、親戚知己の間に友情を缺くに至る。何れの點から見ても、其の數を少くし、質素を旨とすることが肝要である。

(1) 中流家庭に於て一般銘仙主義を實行し數を少なくすること。

(2) 羽織は長着に相應する紋付を選択すること。

(3) 長襦袢は短襦袢と裾除とに分ち、胴を廉價なるものとし、又は上の長着如何により、袖のみを附けかへ得るやうにすること。

(4) 夏羽織を廢すること。

(5) コートは毛織の長コート一枚とすること。

(6) 帯は改良帯とすること。

(3) 普通服

(1) 木綿主義とし質素堅牢を旨とすること。但し老人は此の限りにあらず。

(2) 綿入を廢し、寒暖を下着間着で調節すること。但し老人は綿入を用ふ。

(3) 長襦袢は訪問服と同様の形のものを使用し、洗濯に便ならしむること。

(4) 帯は一切改良帯とすること。

(5) 子供服は主として洋服とすること。

(三) 衣服の數の節減より受くる利益

(1) 直接の利益

(1) 一般家政を簡潔にし秩序的生活を爲し得ることが出来る。従つて主婦の能率は増高する。

我が國の婦人は衣服の洗濯、裁縫、手入、保存等に忙殺せられ、自らを修養する餘裕を有しないで、社會の進歩に後れてしまふ有様である。枚數節減は此の弊を破ることが出来る。

(2) 衣服費の減少はもとより、之に伴ひ、衣服容器及び其の置場等の縮小を來し、經濟上多大の利益となる。

(2) 間接の利益

(1) 衣服に關する一家の主義方針確立する時は、徒に流行を追ひ、虚榮に走ることがない。浮華嬌奢の弊風を家庭から一掃することが出来る。

(2) 子女に節制、質素等の美德を涵養する有力な手段となること。

(3) 社會の弊風を矯正し、國家經濟の上に益することが多い。手入保存法の研究

(1) 洗濯汚點拔等手入を合理的に行ひ、虫害を防いで衣服の使用期間の延長をはかること。

(2) 毛織物は手入保存法の研究足らず、其の柔軟性及び弾力性を失はしめ、又は虫害の爲めに用に堪へざらしめる場合が多いから特に之が研究を要する。

(3) 褪色し又は流行おくれとなつた色合は色揚又は染替を爲し再生利用の途を講ずること。

材料の繰廻し

(1) 羽織を着物に、上着を間着に、縫ひ直し、大人のを小兒ものに縫ひ直すこと。

(2) 和服材料を洋服に利用すること。

(3) 半襟、ネクタイ等の不用品を利用し、所謂廢物利用の方法を講ずること。

着古したる左の衣服の利用法を問ふ。

(1) セル地背廣洋服

(2) ホワイトシャツ

(3) 銘仙單物

(4) 仙臺平袴

(5) 襦袢

(大八豫)

材料の購入を巧にすること

(1) 流行の先驅を爲すものは高い。季節後れの品見切品等は安價である。

(イ) 夏物は八月頃から、冬物は二月から安くなる。

(ロ)見切品でも當初から特價品として粗悪なものをつくらしめたものはよくないから注意を要する。

(2)大都會の大商店で直接織元から大量に仕入れる所のものは小都會の小店よりも品もよく比較的安いのが普通である。然し、四圍の境遇が極めて民衆的で實用的なものを頻繁に賣捌く所は比較的安い。平常着などはこんな所で購入する方が却つてよい。

(3)藏拂廉賣などと稱して安物を賣捌くことがあるが、品質のよくないものを特につくらせて賣るものもあるから、鑑識力のない人は必要もないのに安いからとて購入するは避けたいがよい。

如何にして衣服材料の消費を節約すべきか、主婦の立場より具體案を記すべし。(大一四豫)

高等女學校生徒に教ふべき衣服經濟の要項及び其の内容の概要

を記せ。(昭二豫)

中流生活者の品位を保ち得る限度内に於て節減し得べき衣服の種類・數量並に其の方法を述べよ。(大一〇豫)

高等女學校に於て教ふべき家庭に於ける衣服經濟の梗概を述べよ。(昭三本)

家事教材研究案

衣服篇(終)

昭和四年一月廿五日印刷
昭和四年一月卅一日發行

定價金壹圓

發行者兼

家事教授研究會

右代表者

東京市四谷區本村町二七番地

大元茂一郎

印刷者

東京市神田區表神保町壹番地

安田久仁

印刷所

東京市神田區表神保町壹番地

健捷堂印刷所

發行所

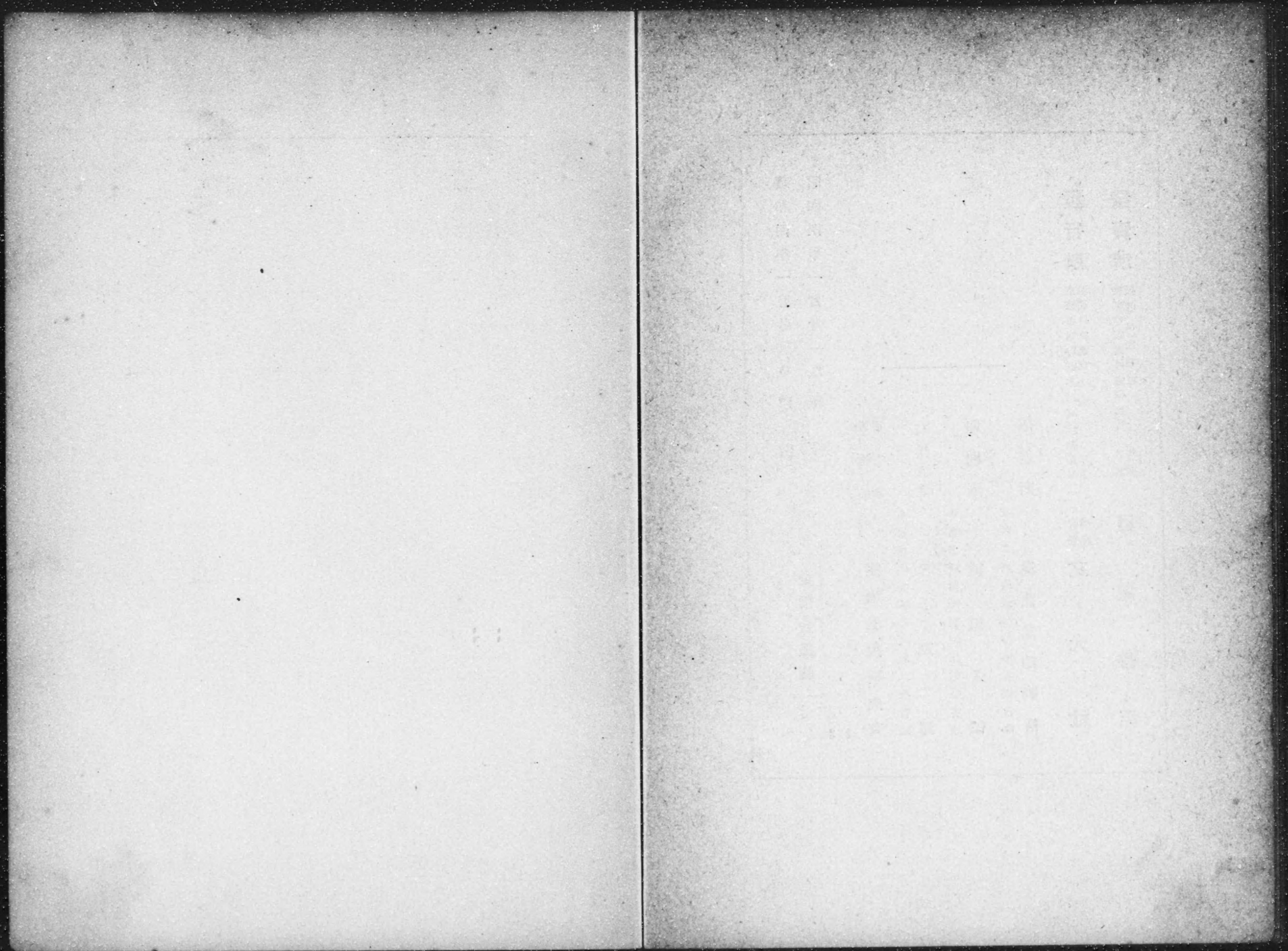
東京市四谷區本村町二七番地
振替口座東京六六二二一
番

會社
文光社

發賣所

東京市京橋區南傳馬町二ノ五
振替口座東京二八〇九番

目
黑書店



263
146

